

## 第5学年 国語（書写）

### 第5学年の学習到達目標

- (1) 文字の形，大きさ，配列などを理解して，読みやすく書く。
- (2) 毛筆を使用して，点画の筆使いや文字の組立て方を理解しながら，文字の形を整えて書く。
- (3) 毛筆を使用して，字配りよく書く。

### 第5学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	はじめに ・毛筆のしせい ・学習の進め方	毛筆の姿勢・筆の持ち方を確認する。 学習の進め方を考える。 既習の筆使いについて確認する。	毛筆の姿勢・筆の持ち方 書写学習の進め方 既習の筆使い
	字形 ・組み立て方（上下の部分） 笛	「笛」の上下の組み立て方を理解する。 「たけかんむり」の書き方を理解する。 既習事項にも注意して，「笛」を整えて書く。 硬筆で，上下の組み立て方に注意して書く。	「笛」の上下の部分の高さや形・組み立て方 【字形の整え方】組み立て方（上下の部分） 「たけかんむり」の書き方 筆で「笛」のまとめ書き 硬筆上下の組み立て方
	・こう筆に生かそう 組み立て方	自分の課題を選択し，上下・左右の組み立て方を考えて書く。	硬筆の姿勢・鉛筆の持ち方 【字形の整え方】組み立て方（上下の部分，左右の部分）
	字形 ・筆順と字形 馬車	「馬」「車」の筆順と画の間隔を理解する。 既習事項にも注意して，「馬車」を整えて書く。 硬筆で，画の間隔に注意して書く。	【字形の整え方】（毛筆）筆順と字形（画の間隔） 【字形の整え方】（硬筆）画の間隔（「横画」「縦画」「左払い」「点」）
	・こう筆に生かそう 筆順と字形	筆順の違いを理解し，筆順に従って書く。 間違えやすい筆順に注意して書く。	漢字の似た部分の筆順の違い 間違えやすい筆順
	チャレンジ！ ・知りたいことを教えてもらおう	既習事項を生かして丁寧に書く。	既習事項を生かして，手紙（依頼状と礼状）を丁寧に書くこと
	筆使い・字形 ・筆使いと字形（ひらがな） すばる	平仮名の「結び」「折れ」「折り返し」の筆使いを理解する。 「す」「ば」「る」の外形を理解する。 既習事項にも注意して，「すばる」を整えて書く。 硬筆で，「結び」の形に注意して書く。	毛筆の姿勢・筆の持ち方 【平仮名の筆使い】「結び」「折れ」「折り返し」 【字形の整え方】外形
後期	字配り ・漢字とかなの大きさ 花さく町	仮名は漢字より小さめに書いてつり合いをとることを理解する。 「花さく町」の行の中心を理解する。 字配り・配列について理解する。 既習事項にも注意して，「花さく町」を整えて書く。 硬筆で，漢字と仮名の大きさ，行の中心に注意して書く。	仮名は漢字より小さめに書いてつり合いをとること 「花さく町」の行の中心の理解 【字配り】漢字と仮名の大きさ，行の中心 字配り・配列
	文字の話 ・どちらにする？手書きとワープロ	手書きとワープロの特徴を知る。	手書きとワープロの特徴
	配列・横書き ・こう筆に生かそう 行の整え方	箇条書きについて理解する。 行の書き出しの位置を理解する。 行の中心，文字の大きさ，字間に注意して，行を整えて書く。	箇条書き 行の書き出しの位置 【配列】行の書き出しの位置，行の中心，文字の大きさ，字間
	・こう筆に生かそう 横書き	行の書き出しの位置を理解する。 文字の大きさと字間に注意して，横の行を整えて書く。	行の書き出しの位置を理解する。 【配列】行の書き出しの位置，文字の大きさ，字間，横書き

	字形 ・組み立て方(「によ う) 進め	「によ」の組み立て方を理解する。 「しんによ」の書き方を理解する。 既習事項にも注意して、「進め」を整えて 書く。 硬筆で、「によ」「たれ」「かまえ」の組 み立て方に注意して書く。	【字形の整え方】組み立て方(「によ」) 「しんによ」の書き方 【字形の整え方】(硬筆)組み立て方(「によ う」「たれ」「かまえ)
	チャレンジ! ・書きぞめをしよう 出 発 心に太陽	既習事項を生かして書き初めをする。 小筆の持ち方や使い方を確認し、名前を 丁寧に書く。	既習事項を生かした書き初め 小筆の持ち方や使い方、書き初め用紙に 書く場合の姿勢
後期	まとめ ・まとめ 新しい星	5年で学習したことをまとめる。 自分の目当てを持って学習する。 自分の目当てに対して、自己評価をする。 相互評価をする。	5年で学習したことのまとめ 【筆使い】平仮名の「結び」「折れ」「折 り返し」 【字形の整え方】組み立て方、筆順と字 形、外形 【字配り・配列】文字の大きさ、行の書 き出しの位置、行の中心、字間 毛筆の姿勢・筆の持ち方 自己・相互評価
	チャレンジ! ・守ろう!わたしたち の地球	既習事項を生かして丁寧に書く。	二つの教材(硬筆と毛筆の環境保護ポス ター)から自分の課題を選択し、既習事 項を生かして丁寧に書くこと

### 評価の観点・方法

(1) 評価の観点 【国語への関心・意欲・態度】 文字に対する関心を持ち、自分の課題に沿って活 動を振り返り、そこからさらに新しい課題を見つけ、 自己批評しながら学習している。 【言語についての知識・理解・技能】 書写では文字の形、大きさ、配列、毛筆では、点 画の筆使い、文字の組立て方、字配りなどを理解し て文字を正しく書いたりしている。	(2) 評価の方法 書き上がった作品だけでなく、学習に取り組む態度、発言、 自己評価、相互評価など、多面的に評価します。 自分の良さを生かしたり、お互いの良さを認め合ったりし ながら学習を深めることができるように、自己評価・相互評 価も取り入れます。 よい子のあゆみでは、国語科の「主な観点と達成の様子」 の中に到達度で示します。
--	--

### 特色ある学習方法

(1) 児童が主体的に学習を進められるよう、意欲を持たせるための工夫をします。 ・ 自分の課題を見つけ、課題に適した学習方法(練習用紙・練習方法)を選択したり、学習形態を工夫したりします。 ・ 学ぶ喜びを味わえるように、学習の始めに書いたものと学習後に書いたものを比べ、学習の成果を確認します。 ・ 作品を掲示することにより、自分や友達の作品の良さを認め合います。 (2) 毛筆で、細部まで確かめながら大きく文字を書いていくことにより、硬筆では理解されにくい部分や書き方を意識させることができます。日常生活における書写力向上のためにも、毛筆と硬筆を関連させて指導していきます。 (3) 書写学習を生活に生きる学習にするために、横書きや箇条書き、手紙文など、生活の中や他教科の学習で扱う書式や内容も取り入れています。
--

### 使用教材等

教科書 「新しい書写 5年」(東京書籍) 硬筆の学習...書き方ノート、鉛筆(HB~2B位が適当)、下敷き、消しゴム、フェルトペン、赤鉛筆 毛筆の学習...大筆、小筆、墨液、硯、下敷き、文鎮(できれば2つ) このほかにも、ぞうきん、新聞つづり(新聞紙1/4をノート状にホッチキスでとめたもの)も用意させてください。 書きあがった作品の処理・後片付けなどに使います。
--

### 留意事項

(1) 用具の取り扱いや手入れの仕方については学校でも指導しますが、ご家庭でも声かけをお願いします。学習が終わった日に、自分で用具の手入れをする習慣をつけることが大切です。 ・ 硯...水でよく洗います。 ・ 大筆...水洗いをし、水気を取り穂先をそろえておきます。小筆は水洗いせず穂先を整えるだけにします。 ・ 下敷き...しわにならないように気をつけてしまいます。 ・ 新聞つづり...作品を取り出しておきます。汚れが多いときは新しく作ります。 (2) 持ち帰った作品(一番良く書けた作品は教室に掲示)を見られましたら、気をつけたことやうまくいったことなどを聞いて、良い点をほめてあげてください。
---